

2008  
1月号

# 広報みはま



子育て支援センターの利用者の皆さん

## TOPICS

- 新年のごあいさつ
- 年男・年女の皆さんの新年の一言
- 議会ニュース
- 税務署からのお知らせ
- 美浜発電所の状況

No.444

平成20年1月1日発行

# びを申しあげます



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方には希望に満ちた新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、「誰もが住んで良かった」「住み続けたい」と実感できる魅力あるまちづくりを進めるべく、第四次美浜町総合振興計画を策定し、今年は3年目にあたります。本計画の将来像である「自然かがやき 人いきいき まちがにぎわう 美し美浜」の創造をめざし、各種施策を推進するために、町民の皆様とまちづくりを共学し、協働で進めていきたいと考えております。

まず、美しい自然と共生するために、ラムサール条約に登録された名勝「三方五湖」をはじめ美しい自然環境を守り育てるため「美浜町環境基本計画」に基づき総合的かつ計画的に保全・活用施策の取り組みを実践してい

きたいと考えております。

さらに、安全で安心できる快適でうるおいのあるまちづくりのために、道路網の整備を進め、舞鶴若狭自動車道や国道27号美浜東バイパス等の早期完成を図るとともに、下水道の整備についても平成21年度完成に向けて取り組んでまいります。

住民が共に支え合う健やかでぬくもりのあるふれあい豊かなまちづくりのために、昨年再編された「あおなみ保育園」の改築工事に着手いたします。また、美浜町民の平均寿命と健康寿命は県内でも低く、医療費が高い町となつているため「健康づくり」を強力に進めていきたいと考えております。さらに、高齢者や障がい者が安心して、生きがいをもって社会に参画できる環境づくりに努めていきます。

元気とにぎわいのあるまちづくりのためには、基幹産業である農林水産業と連携を密にした体験型観光の推進に努め、交流人口の拡大を図っていききたいと考えております。特に今年は何博フォーローアップ事業を本町で開催することとしており、春から秋にかけて多くの行事・イベント等を計画しております。

また、町の活性化を図るため、企業誘致にも積極的に取り組んでまいります。

環境に優しい極めて重要なエネルギー源であり、地球温暖化防止に大きく寄与している原子力発電をこれからも推進し、今後とも安全と安心の確保を最優先とした原子力政策を進めていきたいと考えております。

次に、こころ豊かな人を育てるまちづくりのために、学校教育の充実と安全で安心できる教育づくりを推進し、町内全小中学校でエネルギー環境教育を本町教育の一つの柱として実践しております。今後は、本町をエネルギー環境教育の拠点として全国に発信していきます。この推進と併せて、老朽化が著しく耐震上からも対策が求められていた美浜中学校の改築工事を春までに着工し、平成21年度完成をめざします。

また、国吉城址史跡公園整備のガイダンス施設の建設についても今年着工し、平成20年度完成を予定しております。

年頭にあたり、町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今後の町政にご支援賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 謹んで新春のお慶



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年はもちろん美浜町が誕生してから55年目の新年を迎えました。

この間、皆様には本町の伸展のため、惜しみなく力一杯のご協力を賜り、おかげをもちまして近年に勝る発展をみましたことは、誠に感謝にたえません。

さて、過去数年来、町民福祉の向上をひたすらに願う人ばかりで、町政施策は多くの美しい花を咲かせて、豊かな実りをもたらすことにより、町民のより高い幸せを求めてまいりました。

しかし、激動する社会情勢下にあつて、これからは国や地方自体が大英断、あるいは蛮勇さえも辞さないといった決意がなければ、真に町民の幸せは得られないという緊迫感を覚えるの

であります。こうした厳しい時代にあつて、町民の付託に応えようとする私共は一層心を強く堅持し、よりよき町の繁栄に向かって邁進したいと覚悟を新たにしております。

さらに、町は住民を主役とする第四次美浜町総合振興計画に基づいて、活力あるまちづくりをめざした事業に取り組みなければならぬと思えます。

超少子高齢社会を迎え、高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる社会基盤づくりを推進し、老人保健福祉対策など、また「子ども子育て応援プラン」を着実に推進しなければなりません。保育園再編対策に併せて、保育環境を整えるため、保育園の改築をはじめ、美浜中学校の改築など将来を担う子どもや青少年の育成、創造力と豊かな心を育てる教育、人材育成の実現をめざさなければなりません。

次に、日常生活の基盤となる道路網、交通体系では、国道27号美浜東バイパス全線開通は若干遅れるものの、平成20年度中に供用開始予定であり、舞鶴若狭自動車道は平成26年完成予定となっております。一日も早い実現を願うものであります。町

の流入人口増を図るには、企業誘致をし、雇用拡大を図らなければなりません。現在、数社の企業も内定しております。

さらに、町の主産業の農業、水産業は、過疎化、高齢化によって、担い手の減少、耕作放棄地の増加、水産資源の状況の悪化、輸入の増大による水産物価格の低迷、さらには原油価格の高騰など、町の主産業を取り巻く情勢は極めて厳しい状況であります。町独自の積極的な環境施策により、適切な産業基盤の形成を図らなければなりません。同時に、住民の日常生活に直結する生活環境施設を整備し、町民福祉の向上を図る諸施策を積極的に推進する努力をしなければならぬと思えます。

議決機関である我々美浜町議会といたしましても、本年もまた、終始公正に町民の信託に應えるため町政の諸問題を慎重に審議し、町民各位のご期待にそ

うよう努力する決意であります。どうか町政に対し、皆さんの一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。年頭にあたりいささか所感を述べてご挨拶いたします。